

特殊詐欺対策の推進状況等（令和3年10月末現在暫定値）

1 特殊詐欺手口別の被害状況

※ 被害金額（万円）

	令和3年10月末		令和2年10月末		増減	
	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額
特殊詐欺全体	172	33,499	123	21,693	+49	+11,806
オレオレ詐欺	40	11,574	2	1,450	+38	+10,124
預貯金詐欺	15	1,200	44	7,508	-29	-6,308
架空料金請求詐欺	52	13,968	55	10,350	-3	+3,619
還付金詐欺	44	3,735	0	0	+44	+3,735
キャッシュカード詐欺盗	11	879	9	1,635	+2	-756
融資保証金詐欺	5	648	9	438	-4	+210
金融商品詐欺	2	72	3	142	-1	-70
ギャンブル詐欺	3	1,423	1	171	+2	+1,252
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0

2 水際阻止の状況

	令和3年10月末	令和2年10月末	増減
水際阻止件数	407件	176件	+231件
水際阻止額	約1億6,219万円	約6,539万円	約9,680万円
水際阻止率	71.2%	59.5%	+11.7P

※ 水際阻止の例

- 【金融機関】 窓口で、高額の引き下ろしをする顧客に、用途の確認をするとともに、早期に警察へ通報したもの。
- 【コンビニ】 電子マネーカードの購入客に事情を確認し、詐欺だと気付いたもの。
- 【ATM利用客】 携帯電話で通話をしながらATMを操作する客を詐欺被害ではないかと疑い職員に連絡したもの。
- 【タクシー】 焦っている利用客を詐欺被害ではないかと疑い、通報したもの。

3 特殊詐欺被害防止に向けた対策

① 固定電話対策

（犯人と電話で話をしない）

- ・固定電話対策キャンペーン
- ・購入補助金制度創設の働き掛け
- ・家電量販店と連携した広報

② 広報活動

（嘘の話にだまされない）

- ・報道機関を活用した情報発信
- ・県警HP(特殊詐欺)のリニューアル
- ・金融機関と連携した広報

③ 水際対策

（お金を渡さない）

- ・金融機関・コンビニ等への対応強化依頼
- ・予兆電話警戒速報の運用
- ・新たな表彰制度の創設